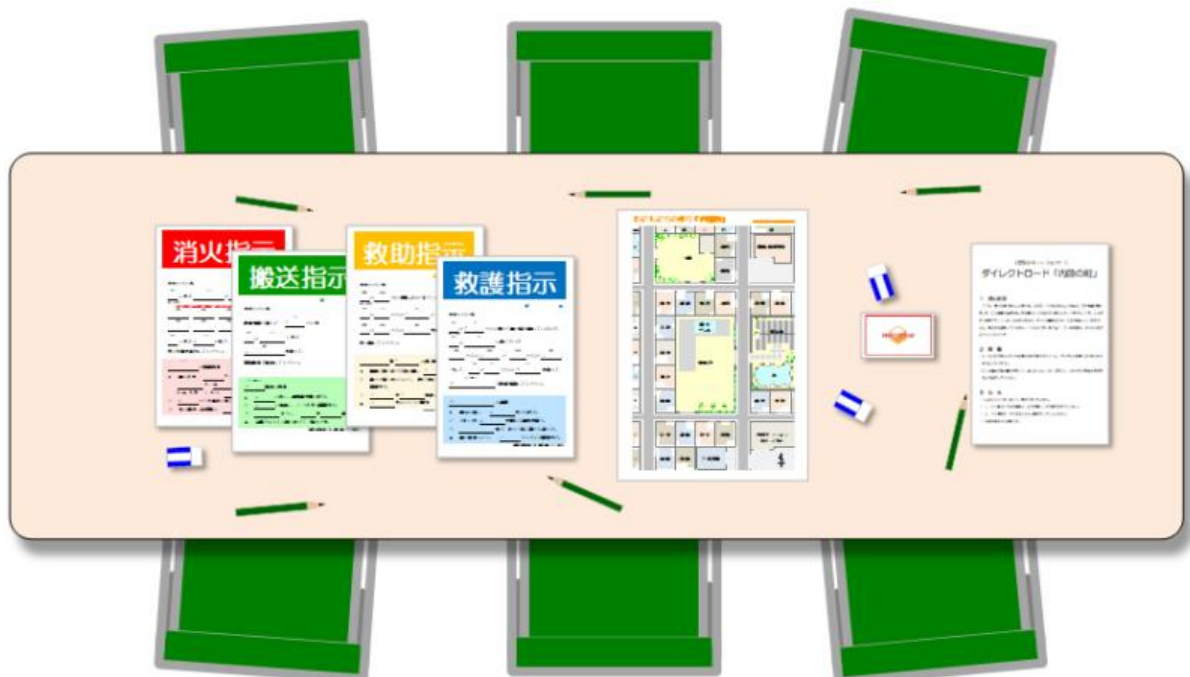


災害協カシミュレーションゲーム ダイレクトロード「内陸の町」 実施マニュアル

1 実施に必要なもの

- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------|
| (1) 道を切り拓く仲間 | 5～7人（1グループにつき） | |
| (2) 全体の進行役 | 1人（シナリオがあるので誰でもできます） | |
| (3) 周りにいる人役 | グループが3以上の場合、数人 | |
| (4) 筆記用具 | グループに鉛筆数本・消しゴム | |
| (5) 進行役シナリオ等 | 1式 | } 印刷してお使いください |
| (6) 説明書き | グループに1枚 | |
| (7) 「内陸の町」地図 | グループに1枚 | |
| (8) 情報カード（28枚） | グループに1セット | |
| (9) 指示用紙（4枚） | グループに1セット | |
| (10) Looking back 用紙 | 人数分 | |



2 ゲームの進め方

- (1) 各グループに「説明書き」「地図」「指示用紙（4枚）」「情報カード」を配布します。
- (2) 進行役が想定とルールを説明します。（10分間）

- (3) ゲームをおこないます。4種類の指示書を作成して、周りにいる人役に的確な指示を出せばクリアです。(45分間)(延長設定可)
- (4) 終了後、各自の情報カードを見せ合うように促します。また、「Looking back 用紙」を配って記入してもらいます。進行役は数分後に、まとめのシナリオを読み上げます。(15分)

3 ゲーム中の「進行役」と「周りにいる人役」の動き

進行役は、シナリオのタイムラインに沿って「サイレントタイム」を入れます。

周りにいる人役は、担当グループの周りにおいて、ヒントを出したり、さりげなく発言を促します。指示書が受け取ったら、一旦預かり正誤を確認します。正解の箇所には丸をします。間違っている箇所は、その部分を説明して返却します。例えば「この場所に、この道具はありませんでした」「指示された道具では無理です」「指示された場所に、そんな人は住んでいません」など…。

指示書が全て正しかった場合は、進行票に記載された質問をします。納得できる説明が返ってくれば、「分かりました！やってみます！OKです！」と言って指示書の受け取り、進捗状況把握表に丸を入れます。4枚目の指示書が完成した時間を控えます。

※周りにいる人役とは

自分たち(ゲーム参加者)の周りにおいて、何をしていたか分からずにウロウロしている人という設定です。3グループ以上に実施する際は、進行役と別に配置したほうがスムーズです。

進行役よりも重要な役です。できるだけダイレクトロード体験者になってください。多グループに実施する際は、事前に周りにいる人役向けの体験会を実施することをおすすめします。

※学習効果をさらに高めるために

各ゲームとも、登場する道具類(本物でなくてもいい)を準備して参加者にやり方を実演してもらおうと、アウトプット効果がぐっと高まります。



4 ライセンスについて

防災知識の幅広い普及啓発を目的として、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示-非営利-継承 (CC BY-NC-SA) のもとに提供します。ご自由に使用・転載・複製・改変していただいて構いません。

